

## 【活動報告レポート】

団体名	ママと子どもに優しい居場所 サトワラ	事業の進捗度
		100%
<p>1. この1年の活動の経過報告</p> <p>地域に住む子育て中の母親（ママ）が主体となり、1年間の活動を展開。定期的なスタッフミーティングを経て、月に2回のサトワラの日を実施した。サトワラの日には「遊び場」と「学び場」があり、いずれも月に各1回ずつ実施。遊び場では、恵那市に点在する耕作放棄地をフィールドに、未就園児の親子を対象に自然遊びを楽しむ場を開催。学び場では、一般社団法人日本クラブメンター協会代表の伊藤直樹氏を講師に迎え、子育てに関わる方々を対象に「ゆるゆる子育て実践法」という育児法を学び合った。</p> <p>また、サトワラの日（遊び場）のなかで毎回行う手形のワークショップを単発で行って欲しいとの依頼を受け、4月と2月に子育て世代が集うイベントにて「子どもの成長記録をおしゃれ手形で残そう！」と題したワークショップを開催した。</p> <p>サトワラの名称には『「里に集う童（わらべ）」・「里で笑うママと子どもたち」が増えますように・・・』という願いが込められている。上記の活動を通して、子育てをより豊かに楽しく感じられる親が増えること、また自然豊かな恵那市の魅力を実感できる親子が増えるきっかけづくりの場となれたのではないかと考える。</p>		
<p>2. この事業（活動）を行ったことによる効果</p> <p>サトワラの活動を通して以下の効果がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①恵那市に点在する耕作放棄地（田畑や森林等）の有効活用・再利用。</li> <li>②子育て世代の居場所の創出。</li> <li>③子育ての困り感の解消（子育て時間・育児疲れ・孤立・未満児の居場所）。</li> <li>④多世代交流（施設利用者との交流を通して）。</li> <li>⑤活動意欲を持った子育て世代の活躍の場。</li> <li>⑥地域の魅力の再発見・地域の活性化。</li> <li>⑦出会いの場・繋がり場のづくり。</li> </ul>		
<p>3. この1年の活動の中で得られた（発生した）課題</p> <p>サトワラの活動を通して、以下の課題がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コロナ禍でのイベント中止や活動延期。 ⇒継続可能な活動の工夫を再考。</li> <li>②自然遊びの場へ参加中に起きた事故・怪我。 ⇒参加者への理解促進・救急セットを購入・ボランティア保険の活用。</li> <li>③耕作放棄地の状態確認。</li> <li>④サトワラの日（遊び場・学び場）参加者の次のステップ確保。</li> <li>⑤サトワラメンバーのライフステージの変化。</li> </ul>		

#### 4.今後の展開や展望

サトワラの目的について、サトワラの日を通して達成できつつあると考えている。一方で人数固定で小さく始めている活動だけに、今後はより多くの子育て世代に届く活動となるよう活動を継続していきたいと考える。そのためには、広報と合わせて活動メンバーを増員し、持続可能な団体としていきたい。実際にサトワラの日（遊び場・学び場）に参加した母親が運営側に回りたい、継続して関わりを持ちたいと言ってくれることも少なくなく、今後は積極的にサトワラの運営メンバーを募集し、継続した居場所づくりも行っていきたい。また、サトワラの日（遊び場・学び場）では専門知識を要する場面も多く、地域の多様な講師陣を招き、役割分担をしながら多様な面々でサトワラの活動をより豊かに行えるようにしていきたい。地方だからこそその繋がりを大切に、今後も継続した活動を展開していきたい。